

授業科目	公衆衛生学	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次後期	2	講義	30時間
到達目標	1. 公衆衛生の理念や幅広い学問体系からなる公衆衛生の視点から、地域社会・国・世界の人々のいのちと健康について考える力を養う。 2. 社会の背景や動向と様々な健康支援のあり方を学び、健康の保持・増進と疾病等の予防について理解する。					講師
						医師 保健所管理栄養士 保健師 養護教諭
授業計画						
1回	公衆衛生の概要					医師 (10時間)
2回	人口動態 公衆衛生における生活環境と問題への対策					
3回	公衆衛生における生活環境と問題への対策					
4回	公衆衛生における感染症と対策					
5回	公衆衛生における感染症と対策					
6回	食生活と健康					保健所管理栄養士 (2時間)
7回	地域保健 母子保健					保健師 (16時間)
8回	成人保健					
9回	高齢者保健					
10回	精神保健					
11回	難病・障害者保健 歯科保健					
12回	産業保健・労働保健					
13回	健康危機管理・災害管理					
14回	衛生行政					
15回	学校保健					養護教諭 (2時間)
評価方法	修了試験： 選択肢又は論述問題による筆記試験 医師（30%）、保健所管理栄養士（10%）、保健師（50%）、養護教諭（10%）を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 専門基礎 公衆衛生学 医学書院					
参考書						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					